



室戸ジオパークだより Vol.86



“海の資源を守り、大切に使おう。”



室戸岬海岸清掃活動
(参加自由)
4月22日(金)
9:00~10:00

参加をご希望の方は、室戸ジオパーク推進協議会までご連絡ください。

電話：0887-22-5161

メール：info@muroto-geo.jp



牧野富太郎が命名！室戸の植物



最近NHKの朝ドラで話題になっている高知県佐川町出身の植物学者、牧野富太郎博士。天然記念物のヤッコソウの他にも、室戸には博士が命名した植物があるのを、皆さんは知っていましたか？数ある博士命名の植物の中でも、今回は「ハマアザミ」をご紹介します。

鋭いトゲを持つ葉の中に、可憐に咲く紫色の花が特徴のハマアザミ。室戸市内では海岸沿いや道端によく生えているのを見かけます。室戸岬の灌頂ヶ浜でも、ハマアザミが海岸の至るところに咲いているのを見ることができます。

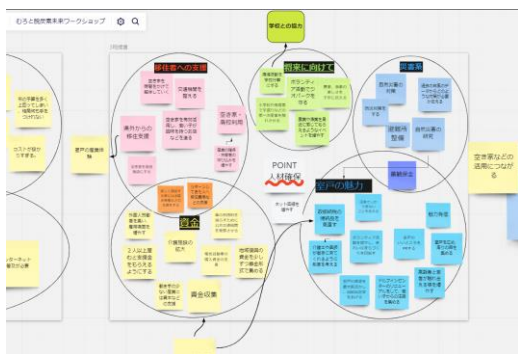
まだ葉がやわらかいハマアザミの根は食べることができます。ちょうど今の時期になると、室戸市内のスーパーの店頭にも並びます。ハマゴボウとも呼ばれ、室戸市民の暮らしに根付いた植物の一つです。
※室戸岬海岸は国立公園に指定されているため、植物の採取はできません。



むろと脱炭素未来ワークショップを室戸高校で開催しました！

2022年2月22日（スーパー猫の日・忍者の日）に、室戸高校1・2年生と市役所職員を対象とした「むろと脱炭素未来ワークショップ」が、対面とオンラインとのハイブリッド形式で開催されました。千葉大学と芝浦工業大学の研究チーム“OPoSuM-DS”と、室戸高校、室戸市まちづくり推進課、室戸ジオパーク推進協議会の共催イベントとして行われました。

はじめに、人口・産業・福祉・財政・エネルギー・気候変動など様々な将来予測データを示す「未来カルテ」や、脱炭素政策の効果を計る「カーボンニュートラルシミュレータ」を用いたレクチャーを受けました。その後、高校生が2050年の未来市長として、将来の課題をより正確に捉え、現在から取り組んでおくべき政策を考えるワークショップを行いました。



今のペースで室戸市の人口減少が続けば2050年には3000人ほどになってしまうという予想や、気候変動による健康や農業・漁業に与える影響を学び、このままではかなり深刻な未来が待ち受けていることを実感した生徒たちは、グループごとに真剣に政策づくりに挑戦しました。参加した高校生は、未来市長になり「歴史を変える」ように政策を考えることを楽しんだとの感想もありました。生徒たちが考えた政策は室戸市副市長に向けて提言され、都会に比べると充実した保育ができることをアピールしていく案や、総合病院の設置案、次なる再生可能エネルギーに向けての提案など、実際の市政にも生かせるものが挙げられました。地域の将来を担う世代が「自分も持続可能なまちづくりに貢献できるんだ」と、少しでも実感してもらえればうれしい限りです。



気候変動に関連する自然災害の増加



世界で気候変動に関連する自然災害が増加中。
図 世界の自然災害の発生件数(1980~2019年)
出典) 3インフォメーション <https://www.metoffice.com/en/uk/uk/natural-disasters-losses-site-trending-upward.html> より作成



ただ穴を掘るだけではない！ボーリング掘削の難しさとスゴさ

ボーリング掘削は、地下の地層や岩石の様子を知る地質調査の方法の一つです。室戸ジオパークのパートナー研究者、植木岳雪先生（帝京科学大学）の掘削調査が、2月末から3月のはじめにかけて、佐喜浜の加奈木と郷の河内で行われました。今回の掘削調査は「ロータリー式ボーリング」という手法でなされました。

この手法は、「ボーリングロッド」という鉄の棒のような部品の先に「コアラー」と呼ばれる筒状の部品を取りつけ、やぐらに設置したエンジンでボーリングロッドとコアラーを回転させながら掘り進めていくというものです。

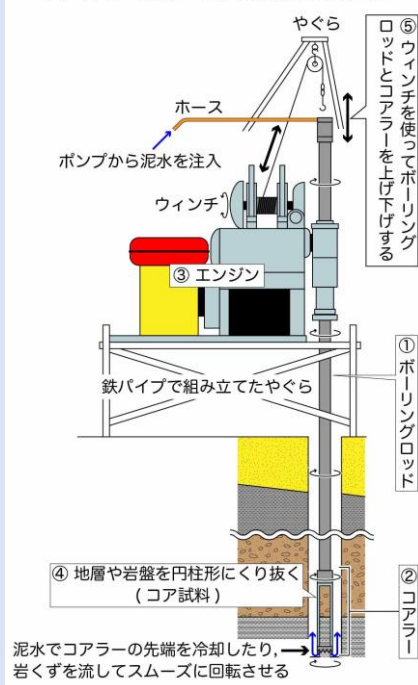
コアラーの先にはリング状の刃が付いており、コアラーが回転しながら掘り進むことで、地層や岩石が円柱状にくり抜かれ、コアラーの中に収まります（コア試料）。コアラーの中がコア試料で満タンになると、ウィンチを使ってコアラーとボーリングロッドを引き上げ、コア試料を回収します。その後、再びウィンチを使ってコアラーをおろし、掘削作業を再開します。コアラーが深く掘り進むにつれて、ボーリングロッドを継ぎ足します。

今回の調査で掘削した堆積物は、岩片を多く含み、固まっています。コアラーを勢よく回転させて掘り進めてしまうと堆積物はバラバラに砕けてしまい、きれいなコア試料は手に入りません。一方、回転する力が弱いと、コアラーの刃が岩片に引っかかり、掘り進めることはできません。確実に掘り進めるには、コアラーの刃の選定、回転数や泥水量の調整など、熟練したオペレーターの技術と経験が必要です。

引き上げられたコア試料は研究者によって調べられ、地層の年代や地層が形成された環境が明らかにされます。よく室戸ジオパークでは「この地層は〇〇万年前に、××のような場所で作られた」という解説をしますが、そのような知識や情報の一つ一つが、技術者や研究者など、さまざまな人々の貢献によって、少しずつ明らかになってきたものなのです。

植木先生の研究については次月の「知ってる？ジオパーク」に掲載されますので、そちらもご覧下さい。

ロータリー式ボーリング掘削装置の図解



磯遊び、そろそろ始まります！



4月から、室戸ジオパーク推進協議会主催の自然体験プログラム「磯遊び」がはじまります。ジオパークセンター前の丸山海岸で干潮時に行うこのプログラムでは、潮だまりの中にいる不思議な海の生き物たちに出会えます。海の生き物に詳しい地元インストラクターに、見つけた生物について直接聞けるのも魅力です。大人も子どもも夢中になれるこの体験プログラムは、今年度は4月29日よりスタート。

詳しい日程やお申込みは室戸ジオパーク推進協議会ホームページ（QR）をご覧ください。



4月22日はアースデイ（Earth Day）



「アースデイ（Earth Day）」とは、地球や環境のことを考え、美しい自然環境に感謝する一日です。アメリカ、カリフォルニア州で起きた原油流出事故による環境被害をきっかけに、環境活動家ゲイロード・ネルソンが1970年4月22日に討議集会を開催。それ以来気、候変動や大気汚染、森林伐採など、地球が抱える深刻な環境問題に焦点を当てて国際的なイベントやキャンペーンをこの日に開催するようになりました。ちょっとしたエコ行動を起こすきっかけとして、アースデイを意識してみてください。

【電話】 0887-22-5161

発行：室戸ジオパーク推進協議会

【Eメール】 info@muroto-geo.jp

【住所】 〒781-7101高知県室戸市室戸岬町1810-2（担当：和田也美）